

平成21年7月27日

取扱：本誌投込みをもって解禁

日本海東北自動車道(中条IC～荒川胎内IC)開通後1週間の 交通状況(速報)

日本海東北自動車道の中条インターチェンジ(IC)から荒川胎内ICまでの間(延長9.7km)が、2009年7月18日(土)15時に開通しました。また、これに先立ち、国道113号荒川道路が2009年3月21日(土)に、国道113号乙バイパスが2009年7月14日(火)に開通しており、県北地域の交通がますます便利になりました。

このたび、NEXCO東日本新潟支社、羽越河川国道事務所、新潟国道事務所において、日東道及び周辺道路の交通状況を取りまとめましたので、お知らせします。

1. 高速道路の利用状況(詳細は別紙①参照)

- ◆日東道(中条IC～荒川胎内IC間)の開通後1週間の交通量は、1日あたり平日で約4,000台、休日で約9,000台でした。
- ◆中条IC～荒川胎内ICに隣接する区間(聖籠新発田IC～中条IC間)においては、平日の交通量が前年に比べ、約2割増加しました。

2. 周辺道路の利用状況(詳細は別紙②、③参照)

日東道(中条IC～荒川胎内IC間)の開通後は、

- ◆並行する道路の交通量が減少傾向であり、高速道路への交通分散が図られていると考えられます。
- ◆荒川胎内ICのアクセス道路である荒川道路の交通量は、平日で約1.4倍、休日で約1.9倍に増加しました。

お問い合わせ先

【報道関係者専用】

NEXCO東日本新潟支社

広報課長 太田 啓

電話 025-234-7126

国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所

工務第二課長 北村 一成

電話 0254-62-6036

国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所

計画課長 太田 太一

電話 025-246-7775

本資料については、新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、毎日新聞(新発田通信部)、新潟日報(村上支局)、村上新聞、いわふね新聞にお配りしています。

日本海東北自動車道(中条IC～荒川胎内IC) 新規開通に伴う利用交通動向等について【速報】

[平成21年7月21日(火)～7月24日(金)]

◆平日の交通状況(速報値)

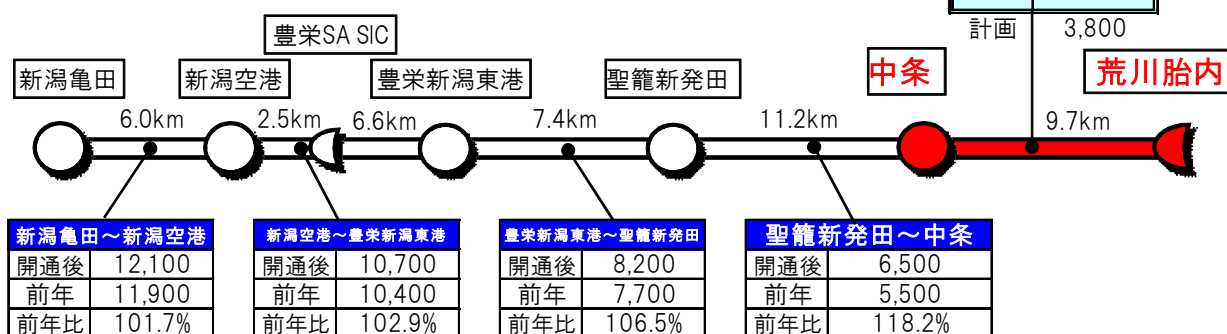
- 開通後の平日4日間の日平均交通量は約4,300台/日でした。
(開通後の休日2日間の日平均交通量は約9,300台/日)
- 新規開通区間の隣接区間(開通済み)においては、日平均交通量が前年同期より約1～2割増加しました。

※交通量は、トラフィックカウンターによる速報値である。

【平日交通量】(台/日)

開通後：平成21年7月21日(火)～24日(金)の4日間の日平均交通量
前 年：平成20年7月22日(火)～25日(金)の4日間の日平均交通量

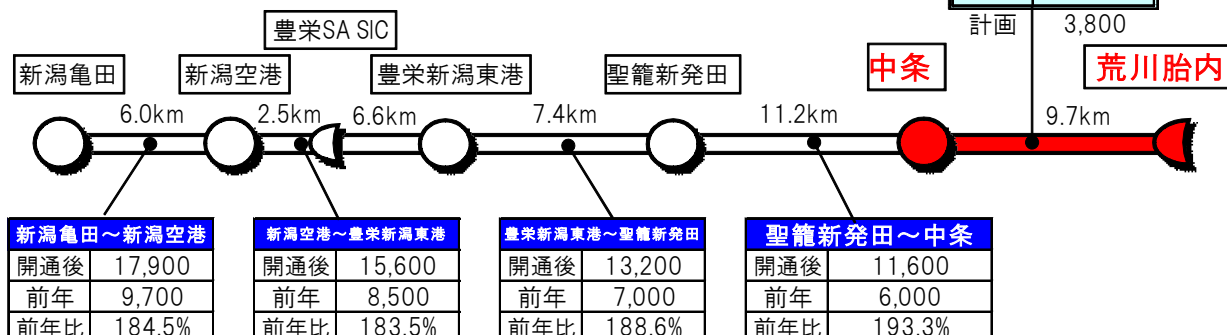
日本海東北道



【参考：休日交通量】(台/日)

開通後：平成21年7月19日(日)～20日(月・祝)の2日間の日平均交通量
前 年：平成20年7月20日(日)～21日(月・祝)の2日間の日平均交通量

日本海東北道



【周辺道路の利用状況】

■主要な道路の交通状況(平日)

	開通前 7/9	開通後 7/23	比率
日東道 (中条～荒川胎内)	0	3,300	-
国道7号 (胎内川)	13,600	11,900	88 %
国道113号 (胎内川)	8,200	9,000	110 %
県道3号 (胎内川)	4,200	3,500	83 %
荒川道路	3,500	5,000	143 %
乙バイパス	0	2,500	-

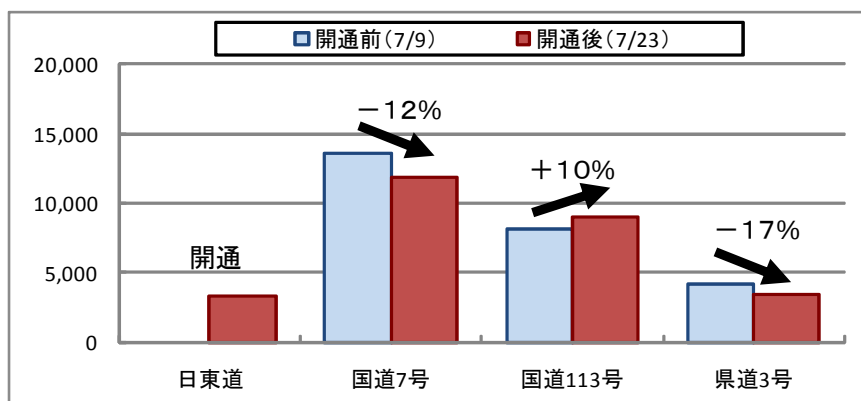
■主要な道路の交通状況(休日)

	開通前 7/11	開通後 7/19	比率
日東道 (中条～荒川胎内)	0	7,300	-
国道7号 (胎内川)	13,100	11,600	89 %
国道113号 (胎内川)	9,400	7,800	83 %
県道3号 (胎内川)	4,300	2,500	58 %
荒川道路	3,300	6,200	188 %
乙バイパス	0	2,700	-

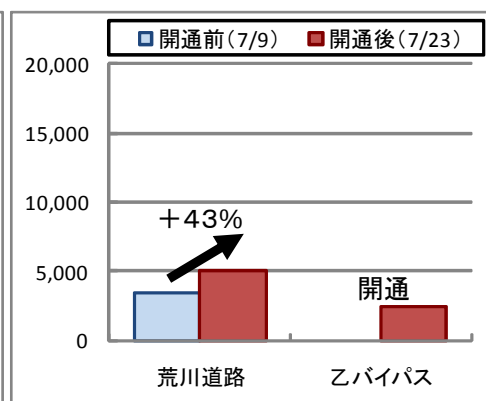
■周辺道路状況



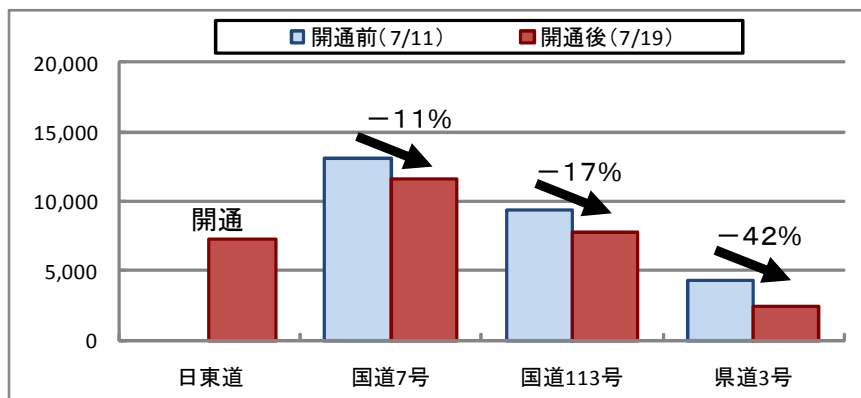
■胎内川を跨ぐ主な道路の交通状況(平日)



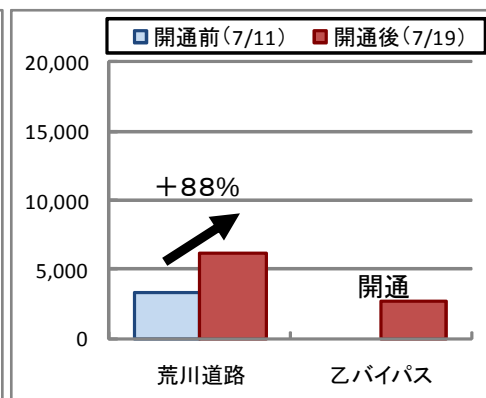
■荒川道路・乙バイパスの交通状況(平日)



■胎内川を跨ぐ主な道路の交通状況(休日)



■荒川道路・乙バイパスの交通状況(休日)

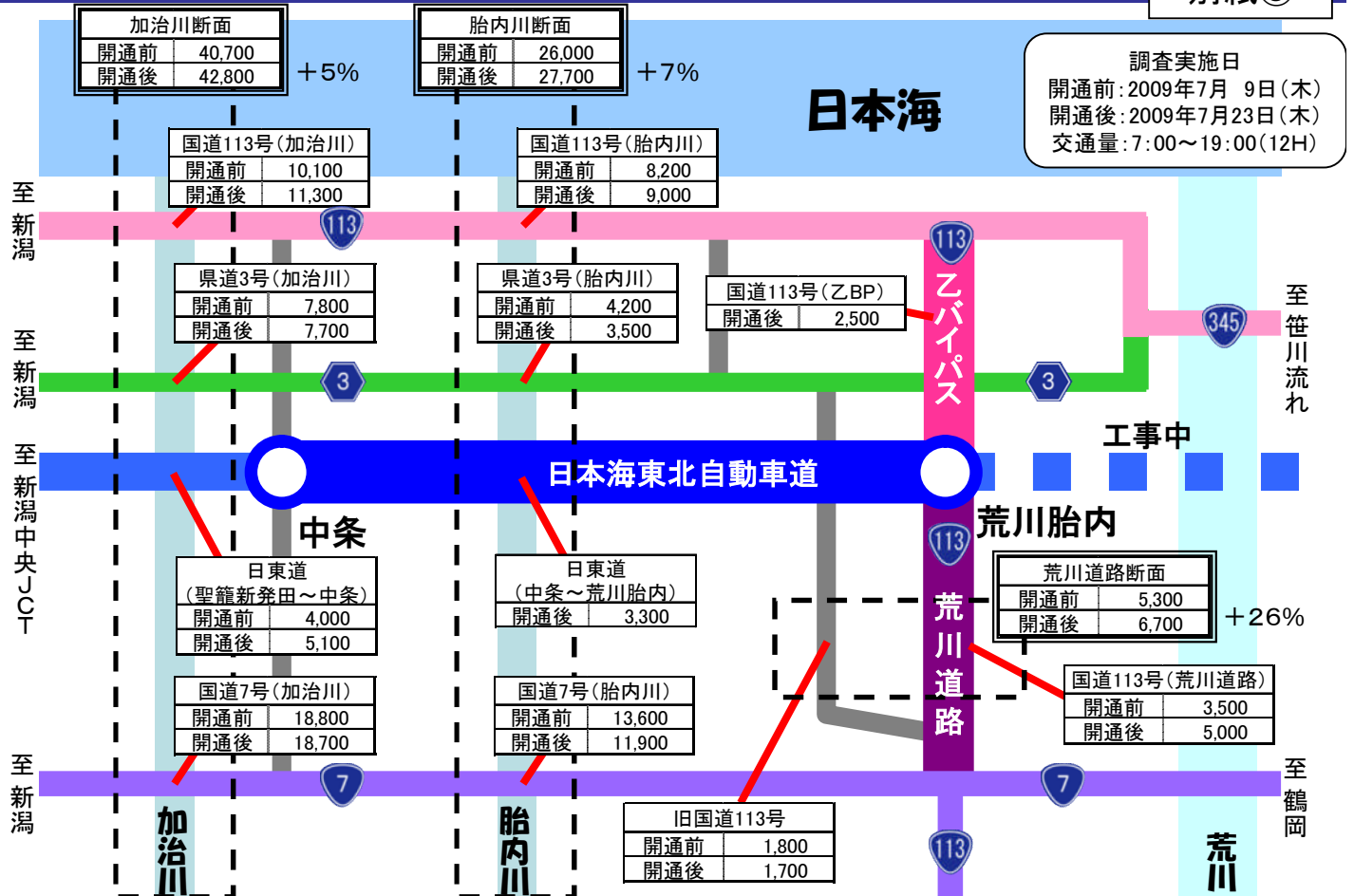


注) 平日、休日ともに12時間交通量(7:00-19:00)

周辺道路の詳細交通量については別紙③をご覧ください。

平日の交通状況

別紙③



休日の交通状況

